

沖縄県採用ガイダンス2026 (化学職／企業局)

沖縄県企業局 水質管理事務所

2026/01/30

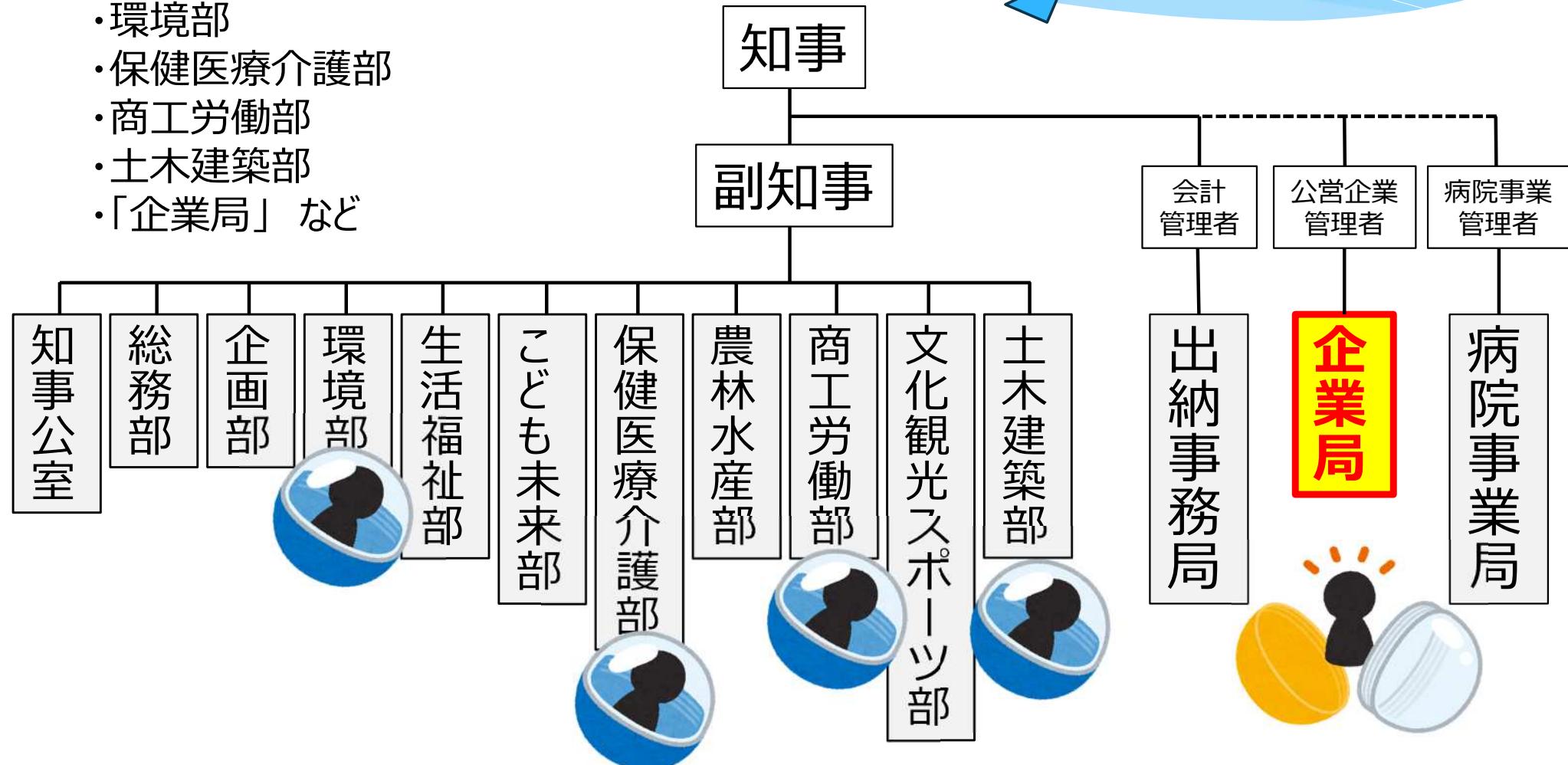


化学職の主な配属先



化学職の配属先は、

- ・環境部
- ・保健医療介護部
- ・商工労働部
- ・土木建築部
- ・「企業局」など



沖縄県企業局とは？

水道用水供給事業／工業用水道事業

➤ 県内のダムや河川から水を取水し、
浄水場で処理した後、水道水や工業用水として
市町村や企業等に供給する。



企業局管理の浄水場（沖縄本島）

名護浄水場



北谷净水場



県庁

西原浄水場



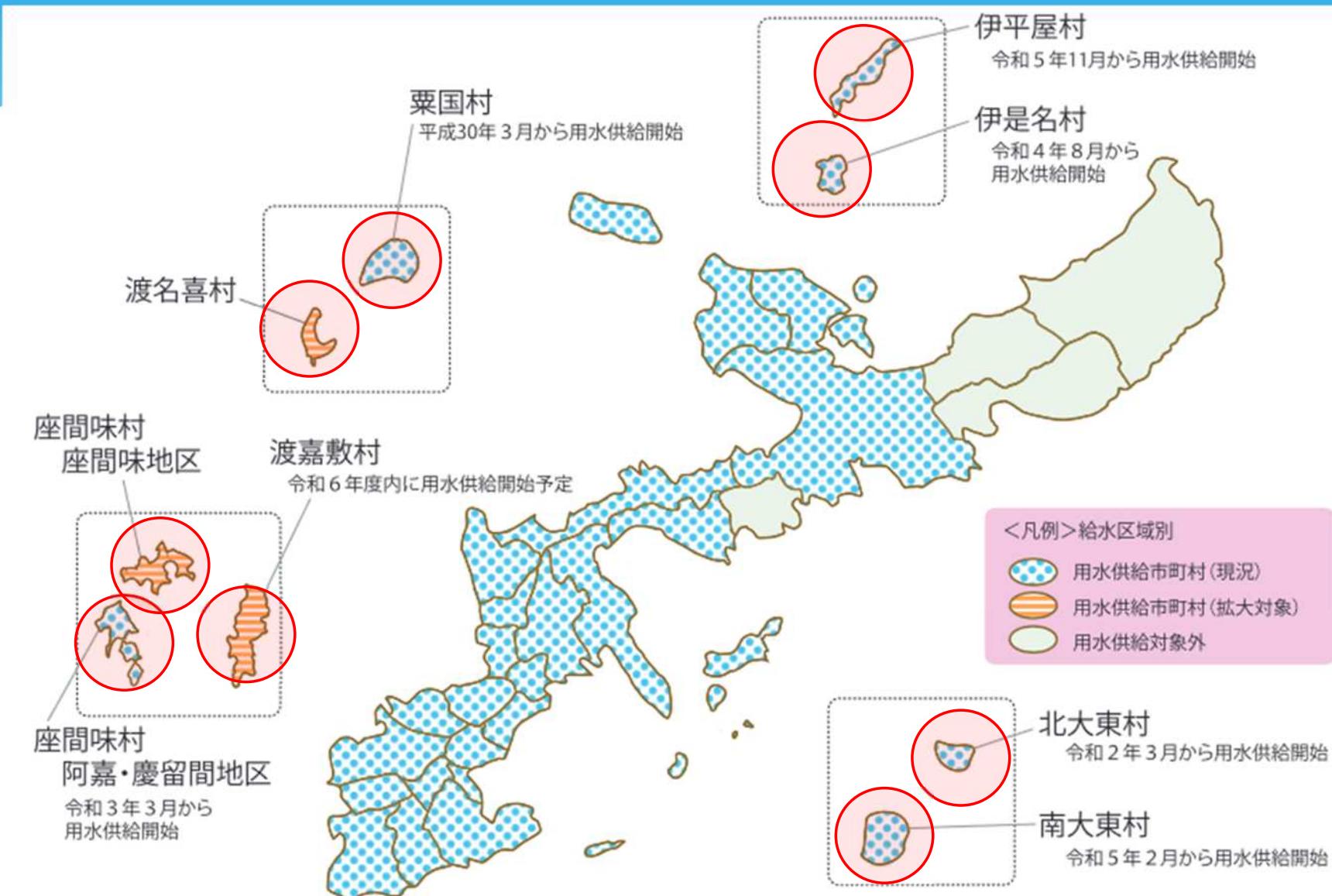
久志浄水場



石川浄水場 (水質管理事務所)



企業局管理の浄水場（離島）

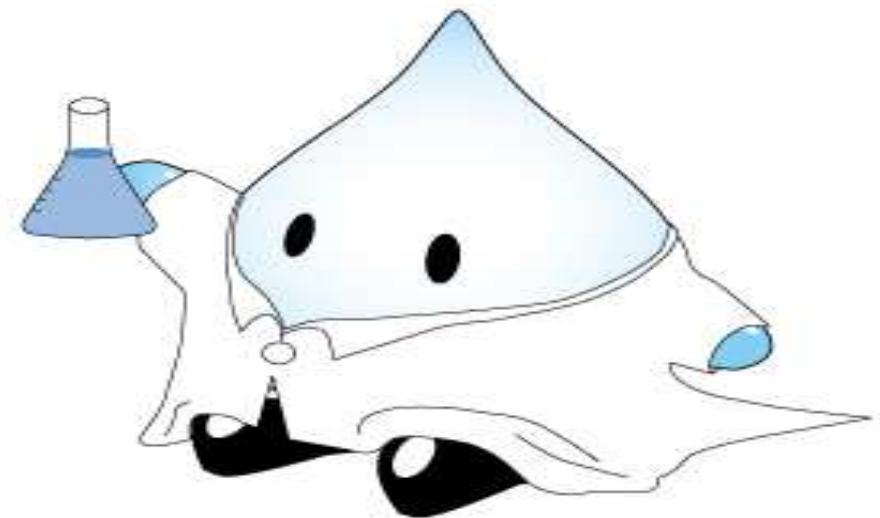


※2026年1月現在、離島浄水場への企業局職員の配置は無し、運転管理を委託

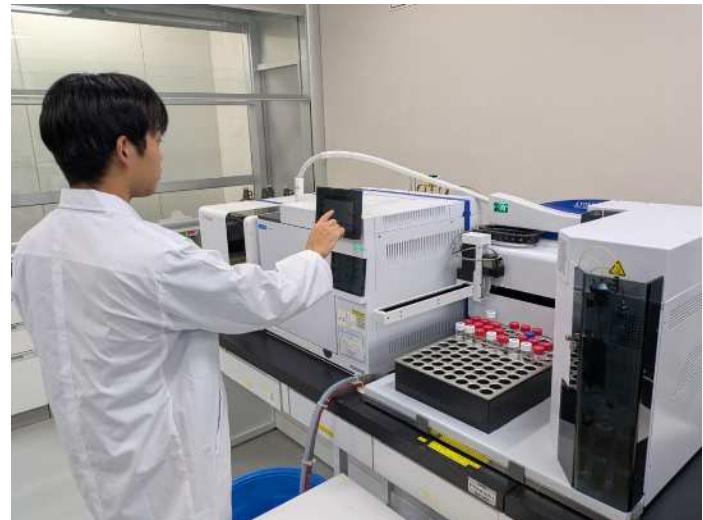
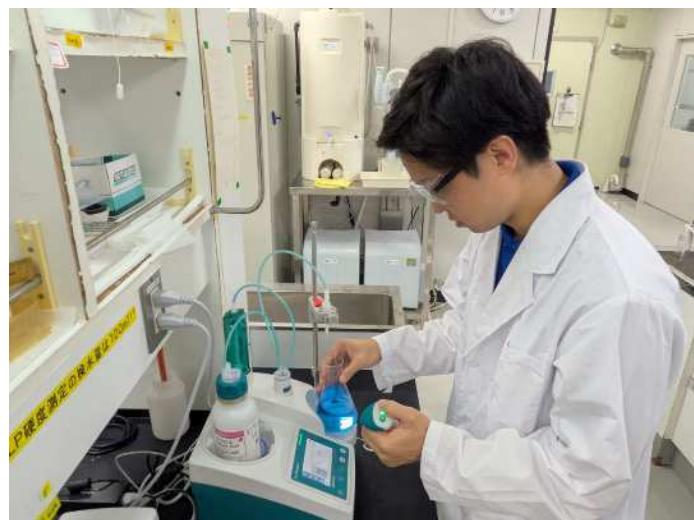
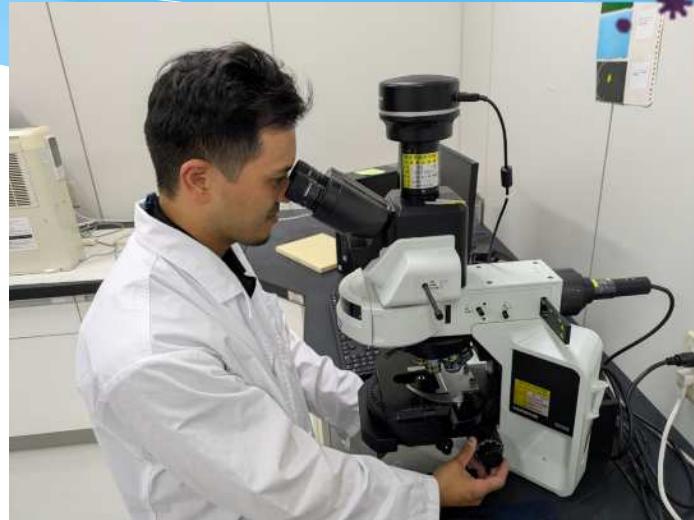
企業局の中での化学職の役割

浄水プロセスは「化学反応」の連続

- 凝集・沈殿・ろ過・消毒等の各工程において
水質検査やその把握が必要である。
⇒水の安心・安全を守るために化学職の力は必須



業務內容①水質検査



業務内容①水質検査

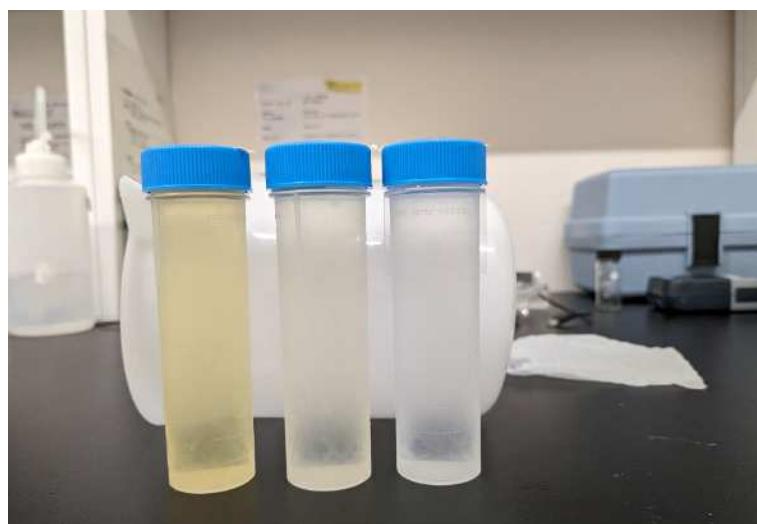


水質検査

➤ 供給される水道水が基準に適合しているか検査する。

主な分野	具体的な検査項目の例	使用する分析機器
有機化学系	PFOS/PFOA、かび臭、トリハロメタン 等	LC-MS/MS、GC-MS 等
無機化学系	重金属類 (Pb、Cd他) 、塩化物イオン 等	ICP-MS、イオンクロマトグラフ
微生物系	一般細菌、大腸菌 等	顕微鏡、培養装置
一般的な項目	pH、色度、濁度 等	吸光光度計、滴定

業務內容②水質管理



業務内容②水質管理



水質管理

- よりよい水を供給するために調査・研究・改善を行う。

分析データが現場を支える

- 自分が分析した検査結果が浄水場の運営判断に還元される
- より安全で、より低コストな水で県民生活を支えるインフラに貢献できる

新たな課題の調査研究

- PFASについての調査研究は全国の自治体に先行している
- 島しょ県の特殊性、特に大規模な海水淡水化施設や小規模離島の浄水に関する知見

○○主任のある一日

8:00	出勤（時差出勤の制度を利用）	
9:00	水質検査のための採水へ出発 浄水場や調整池などで採水	
12:00	外勤時の楽しみ～昼食タイム～	
13:00	採水終了し帰所⇒台帳記入、片付け等	
13:30	自分が担当する検査を開始 (今年度は水銀、PFASなど)	
18:00	検査終了、分析結果報告書作成など	

※担当の検査項目により終了時間が前後したり、次の日に回したりします。

ワークライフバランスのお話し

- * **土日にしっかり休める。
平日もノー残業デー等の取組がある。**
⇒私事ですが水土日にバスケットの試合見に行ったり、
ジムのプールに行ったりして、リフレッシュしています。（趣味との両立）
- * **女性職員男性職員問わず、
積極的に育休や看護休暇をとれる体制**
⇒私の所属でも小さいお子さんがいる職員が多く、
気兼ねなく休暇を取得できる環境にあると思います（子育てとの両立）

最後に



- * あなたの専門性は未来の沖縄を支える武器になる
- * 沖縄県職員の化学職として働くということは、自分の生活（結婚、子育て、趣味等）を大切にしながら、地元に貢献できるということです。
- * いろんな職種や自治体、民間企業などありますが、沖縄県職員の化学職は、選択肢の一つとしておすすめできると感じています。